

ウッチーの  
校長室だより  
令和2年12月1日

# 春風接人



11月には修学旅行や市教育委員会指導主事訪問、学校公開日の実施など、振り返ると学校の職員にとってはちょっぴり忙しい11月でした。それでも、通常に近い形の学校教育活動が行えていることに喜びを感じています。感染拡大注意報が出ていますが、対策を緩めることなく取り組んでいきたいと思ひます。

修学旅行は、石川県と県内での体験活動を中心の修学旅行の実施になりましたが、「どこへ行くか？」ではなく、「誰と、どのような時間を過ごすか？」の大切さを実感したものとなりました。移動距離が短い分、体調面での不安も少なく、たくさんの体験ができました。あわら温泉の貸切温泉で大はしゃぎしたことは、もう二度と体験できないことでしょうね。部屋や芝政ワールドでの自由時間もたっぷり確保でき、友達との友情を深めることができました。



指導主事訪問は、我々教員の授業力を高めるための研修のようなものです。今年度から新学習指導要領が実施されており、学習の進め方などが見直されています。友達の意見と似ている点や違う点を出し合いながら考えを深める授業づくりを進めていますが、その視点でのアドバイスをいただきました。また、今年度末には、3年生以上の児童一人に一台のPCが整備される予定です。その活用方法についても研修していかなければなりません。学校教育も時代の流れに遅れないように、いろいろなことが変化していきます。私たちは、アナログの良さも大事にしながら、デジタル化へのスピードに遅れないよう準備していきたいと思ひます。



学校公開日は、校内での密を避けるために平日3日間の公開にしました。これまで、担任の授業やお子様学校の様子を見ていただく機会がなく、「学校ではどんなことをしているんだろう?」「うちの子、学校でちゃんとしているのかな?」「友だちとなかよくできているのかな?」「授業わかっているのかな?」など思っておられたのではないのでしょうか。今回の公開授業で、学校の様子が少しでも分かっていただければ幸いです。2・3・4年生は、生活科や総合の学習の発表をしました。お家の方に聞いていただいて、緊張はしたものの、それ以上に嬉しかったようです。公開授業の中で感じられたことは、12月の保護者会の折にでもお話いただくとありがたいです。12月、しっかり今学期の学びのまとめをしていきたいと思ひます。